



《将来に向けた取組方針》

人と自然が共生していくためには、各地域の豊かな森や自然を守っていかなくてはなりません。しかし、世界では森林の減少や生物多様性の損失等が進んでおり、社会全体の持続可能性にとってリスクであると考えています。トヨタでは、地域ごとの「いい町・いい社会」の実現に向け、国内外各地で自然共生プロジェクトを立ち上げ、「地域をつなぐ」活動、国内外のNGOなどと連携した「世界とつなぐ」環境活動、従業員や次世代などに向けた「未来へつなぐ」環境教育活動の、3つの「つなぐ」活動を今後も展開していきます。

「地域をつなぐ」活動の事例

オールトヨタ自然共生ワーキンググループ活動
「オールトヨタ グリーンウェーブ プロジェクト」

2015年からトヨタグループの自然共生の取り組み拡大や情報発信の充実、グループの連携強化などに取り組んでいます(2019年度: 22社で活動)



活動実績(2016年4月～2020年3月)

- ・活動回数： 826回
 - ・参加人数： 165,526人
 - ・植樹本数： 187,068本
- (国内外2005年～：12,287,068本)

「世界とつなぐ」環境活動の事例

「IUCN 絶滅のおそれのある生物種のレッドリスト[※]」のアセスメント支援

※国連等の国際的生物多様性保全取組みの主要基礎データ

IUCNが2020年までに追加を目指す約8万種の約1/3の評価を支援しています



2016年記者発表
(ジュネーブ)

年度	評価済	生物種の数
2016	1,333	
2017	3,777	
2018	4,306	
2019	11,925	計21,341

WWFとのグローバルパートナーシップ
「生きているアジアの森プロジェクト」
東南アジアの熱帯林と野生生物保全



保護された
絶滅危惧種の
スマトラサイ